

きょうと 京図



京都市図書館情報誌

本で広がる世界 本でふくらむ夢

平成30年10月発行

ものがたり



上京二十八区小学校（後の龍池小学校），明治9年築

明治京都 事始

ことはじめ

ここから始まった京都
ここから始まる京都



龍池小学校跡の碑（京都国際マンガミュージアム敷地内）

目次

- ② ③ 特集 明治京都事始
- ④ 連載 あなたの知らない図書館
- ⑤ 連載 図書館の本棚から司書がすすめるこの1冊
- ⑥ 図書館の特色紹介 久世ふれあいセンター図書館
- ⑦ 図書館小特集 レファレンスこぼれ話
- ⑧ 利用者の声 中学生にすすめたい本

あなたの好奇心に応える

vol.48

明治京都事始

～ここから始まった京都
ここから始まる京都～

元治元年、禁門の変から発生した大火「どんだん焼け」で半分以上が焼失した洛中。四年後の明治元年9月、天皇の東幸により、京都の人々は動揺。人口も東京に奪われ、実際に貴族の邸宅などは「狐狸の棲家となって居た」ところもありました。しかし、千年の歴史が培った潤沢な人材と新しいモノ好きで勤勉な京都人の気質が、その後の京都の鮮やかな復興を成し遂げたことは、ご存知のとおりです。

明治維新後、新都東京に先んじて日本で初めて実行されたプロジェクトは多々ありますが、その一部を『明治事物起原』を基にご紹介します。

『明治事物起原』 石井研堂 著

明治41年橋南堂より初版、春陽堂より大正15年増訂版、昭和19年に増補改訂が刊行。初版は、国立国会デジタルコレクションに収録。増補改訂版は、複数の出版社から復刻。「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」が様々なジャンルごとに解説されており、明治文化を知る百科事典といえる。「往復切符の始」「アパートの始」「名刺の始」…目次を読むだけでも面白い。

明治元年

銅板 事始

日本初の紙幣、
京都で製造！

本邦銅板業の祖先は天明ころの司馬江漢文政の亞歐堂田善一人を推し、爾後其術を傳ふるもの絶えざりしが、明治元年、京都の二代玄々堂松田敦朝太政官楮幣局の命を奉じ、太政官札五十萬圓を印刷…。

第十一編 編農工部 印刷 及各種版式（九）銅板の始

- 天明3(1783) 司馬江漢、日本初の銅板画を制作。しかし江戸の地においては、天保の頃(江戸時代後期)には衰退する
- 天保7(1836) この頃より京都の初代玄々堂松本保居、銅版画にて京阪名所絵などを制作
- 天保8(1837) 松田敦朝、初代玄々堂の長男として京都に生まれる。父に学び、12歳で銅板画を制作
- 明治元(1868) 二代玄々堂となった松田敦朝、その技術を買われ、太政官楮幣局の命により日本初の全国通用の政府紙幣である太政官札(金札)を、二条城内に印刷所を設けて銅板で製造
- 明治2(1869) 二代玄々堂、民部省より民部省札の製造を依頼され東京に移住
- 明治4(1871) 二代玄々堂、日本初の切手竜文切手を銅板で制作

『京都遊び 三十三景』

山本容子 著
(朝日新聞出版)



京都ゆかりの銅版画といえば、
今はこの方！

京都市立芸術大学で銅版画を学び、現在京都精華大学で客員教授を務める山本容子氏が、四条・寺町・六波羅・叡電沿線など四季折々の京都を、独特の色と線で切り取って案内するイラストエッセイです。

明治2年

学校 事始

日本初の小学校、
京都で開校！

同年、京都府出仕横村正直の發意にて、上京二十七番組一組合町には、小學校一校づつ、創建するを令し、二年五月より近代色ある小學校の開校を始め、同十二月までに、六十四校が開設され…却て東京市に先だてり。

第七編 教育學術部 小學校の始

- 明治2(1869) 日本初の小学校「番組小学校」の創設
- 明治3(1870) 日本初の中学校(現府立洛北高校)の創設
- 明治5(1872) 日本初の公立女學校「新英學校及び女紅場」の創設
- 明治8(1875) 日本初の幼稚園「幼稚遊嬉場」を柳池小学校内に創設
- 明治11(1878) 日本初の盲啞院を創設
- 明治12(1879) 学習院(明治10年京都から東京へ移設)で紺の詰襟男子制服採用
- 明治13(1880) 日本初の公立繪画學校(現京都市立芸術大学)の創設
- 明治17(1884) 京都師範(現京都教育大学)で黒の詰襟男子制服「学ラン」日本で初めて採用
- 明治19(1886) 日本初の工業高校(現京都工學院高校)の創設
- 明治22(1889) 京都最古の洋服店「村田堂松苗商店」、この年京都に移設された第三高等中学校(現京都大学)を始めとする、市内の学生服の製造・販売開始
- 大正9(1920) 平安女学院でセーラー衿の女子制服日本で初めて採用

『わが町・青春の逆説』

織田作之助 著
(岩波書店)



自由な校風とバンカラな
三高生の生態を活写

大阪に生まれた毛利豹一の生き様に仮託して語られる、織田作之助の自伝的小説。

昭和初期、貧しいながらも推薦され旧制三高を受験、合格。学生生活を送る京都の町の様子や、制帽やマントを象徴として肩で風切る風情の三高生の描写は秀逸です。

明治
4年

博覧会 事始

日本初の博覧会、
京都で開幕！

『図説万博の歴史』
平野暁臣 著
(小学館クリエイティブ)



京都の横田栄之助、パリ万博
(明治33年)で、映画に出会う

1867(慶応3)年のパリ万博に
インスパイアされて日本の博覧
会は始まりました。
その万国博覧会の歴史を、豊
富なビジュアルで俯瞰できる1冊
です。

第十一編 農工部

博覧会事始(二)京都の博覧会

如何なるいさざつありしにや明かならざれ
共、東京府、文部省の盡力にて、五年三月
より湯島の舊聖堂に於て開會すること、し
かく準備中なるに拘らず、京都方は、之
を出し抜き二月早く、四年十月より博
覧会の先鞭をつけたるは、一奇なり。

- 明治4(1871) 日本初の博覧会「京都博覧会」西本願寺大書院で開催
- 明治5(1872) 京都博覧会社設立。改めて「第一回京都博覧会」を西本願寺・建仁寺・知恩院で開催。余興として「都をどり」考案
- 明治23(1890) 琵琶湖疏水完成
- 明治24(1891) 日本初の商業用水力発電所「蹴上発電所」が完成し、京都市内への電力供給始まる
- 明治25(1892) 明治28年の「平安遷都千百年紀年祭」の開催を立案、第四回内国勧業博覧会の誘致始まる
- 明治28(1895) 2月日本初の路面電車開業。水力発電の電力により走行
- 明治28(1895) 4月「第四回内国勧業博覧会」を岡崎で開催。路面電車が観客輸送を担う
- 明治28(1895) 勧業博中に催される予定が延期、10月「平安遷都千百年紀年祭」を開催。余興の時代行列は、現・時代祭

明治
30年

活動写真 事始

日本初の映画、
京都で上映！！

『京都花園天授ヶ丘』
並木鏡太郎 著
(愛媛新聞社)



マキノ撮影所の生き証人が
語る、京都映画創世記

昭和初期京都のマキノ撮影所
に入社、脚本家・監督として多くの
映画を撮影した著者の自伝的
小説。爛熟した日本映画界の熱
気や、関東大震災後の混乱がリ
アルに描かれています。京都のカ
ソウ屋の貴重な記録です。

第十四編 遊樂部 活動写真の始

(二三) 稲畑勝太郎と活動写真

かくて、始めて、京都に於て第一回
公開映寫を試みしが映寫處は、市中目
きの盛り場、新京極の東向座なりし。當
時上演のフェルムは、上記の如く、幼
稚なるものなれども大に市民の好奇心
を唆り、豫想外の大當りを得たり。

- 明治10(1877) 京都市生まれの稲畑勝太郎、染色技術を学ぶため京都府派遣留学生としてフランス・リヨンに渡り、オーギュスト・リュミエール(兄)と同級になる。明治18年帰国
- 明治28(1895) パリでリュミエール兄弟が、スクリーンに映して大勢で鑑賞するシネマトグラフを発明し一般公開
- 明治29(1896) 稲畑勝太郎再びフランスに渡り、リュミエールと再会。翌年、シネマトグラフを日本に持ち帰る
- 明治30(1897) 四条河原町近くの京都電燈株式会社の庭(後の立誠小学校敷地内)で、日本初の映画が上映される
- 明治41(1908) 稲畑に映画の興行権を譲られた友人横田永之介が、牧野省三を監督として日本初の時代劇『本能寺合戦』を真如堂(左京区)で撮影
- 明治43(1910) 牧野省三が、日本二番目となる映画撮影所を、現在の二条城近くに設立

参考文献：『京都はじまり物語』森谷尅久著(東京堂出版)、『京都でいちばん京都がいちばん』京都新聞出版センター編(京都新聞出版センター)、『それは京都ではじまった』黒田正子著(光村推古書院)、『日本銅版画志』西村貞著(藤森書店)

4 中央図書館連携企画「明治150年・京都のキセキ」関連図書展示・スタンプラリー

〈第1期〉9/29(土)～10/31(水)

○伏見中央図書館「京都を巡る」
☎622-6700

○醍醐中央図書館
「明治の京～先人の業績をたどる～」
☎575-2584



〈第2期〉11/1(木)～11/30(金)

○中央図書館「明治の街並み」
☎802-3133

○右京中央図書館
「京都のまちを電車が走る」
☎871-5336

明治時代の京都市役所



国立国会図書館のサイトより

4 中央図書館のスタンプを2つ以上集めると記念品(数量限定)をプレゼント。詳細は4 中央図書館へ。

あなたの知らない図書館

Vol.2

ブックメール

京都市図書館は市内20の図書館と移動図書館「てじか号」をコンピュータネットワーク「京ライブラリーネット」で結び、さまざまなサービスを行っています。それを支えているのがブックメールです。

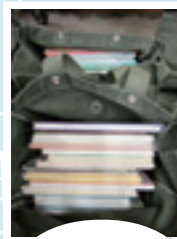
今回は、普段知られることのないそのはたらきをご紹介します。



朝、中央図書館を出発

市内20の図書館、その他7ヶ所を5台のトラックが巡回。それにより、お客様が受け取りを希望される窓口館に予約資料が届けられたり、貸出館とは異なる館で返却された資料が所蔵館へ戻ります。

1日およそ**500袋**に詰められ、さらにコンテナに集めて運ばれます。トラックが各図書館に着くたび、コンテナの積み下ろし、積み込み作業が行われます。



袋の中には
このように本が
沢山詰められて
います

CD・DVDは
エアパッキン
(プチプチ)で
保護し、慎重に
取扱います



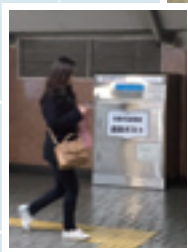
駅返却ポストも回収

地下鉄東西線市役所前駅、烏丸線北大路駅につづき、平成29年11月には阪急烏丸駅構内にも返却ポストが設置されました。

1日計**300冊**を超える図書が返却され、多くのお客様にご利用いただいています。



このほか、
京北自治振興会にも
返却ポストを
設置しています



京ライブラリーネット館以外にも

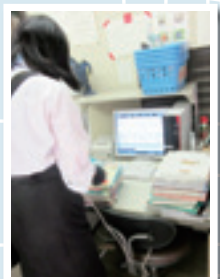
来館困難な視覚に障害のある方に、CD・カセットテープの貸出も実施、窓口となる社会福祉法人京都ライトハウス情報ステーションにも巡回しています。

また、京都府立図書館と、相互に返却図書を預かるサービスを、平成29年11月から試行実施しています。それぞれの窓口でお預かりした返却図書を運ぶのも、京都市図書館のブックメールです。

京都市立
芸術大学にも
週1回巡回して
います



午後、再び中央図書館に集結



運ばれてきた たくさんの資料を、職員の手で袋から出し、1点1点コンピュータで処理していきます。全ての図書館でも、同じ作業が行われています。

平成18年から始まったインターネットサービスにより予約は急増、ブックメールの運搬量も年々増え続けています。これまでに運ばれた資料は、約**3,000万点**。資料1点の厚さを平均1.5cmと計算し積み上げていくと…なんと**450km**！国際宇宙ステーションまでたどり着ける距離です！

1日およそ**10,000点**の
資料が動くブックメー
ルは、多くの人の手に
より支えられています



図書館の本棚から

司書がすすめる

この

1冊

『異邦人(いりびと)』



原田 マハ／著
PHP研究所

森ビル、ニューヨーク近代美術館などでキュレーターとして活躍した経験を活かし、画家の人生、名画の背景をたどるアート小説の名手である著者が、京都と美術の魅力を描いた1冊です。

色彩が印象に残る小説でした。

東京の老舗画廊の息子^{たかむら かずき}篁一輝と結婚した個人美術館の副館長である菜穂は、妊娠をきっかけに京都に移り住みます。体調のせいもあり、鬱々とした日々を過ごしていましたが、ある日ある1枚の絵とその無名の女性画家に出会い、人々との関係が動き出します。

菜穂の絵画に対する情熱やまっすぐな思い、画家の才能を見抜く力。わがままや自分勝手なふるまいに周りは少々振り回されますが、良いものは良いと自分を信じて動ける力をうらやましくさえも思います。前半は、菜穂、一輝、菜穂の母が主な人物ですが、後半はその他の周囲の人々の人間性があふれ出し、それぞれの立場で本性が現れ動き出します。

京都が舞台となっており、葵祭など行事ごとに章立ててあるので、京都人にとっては時間の経過がわかりやすく、季節のイメージもしやすいです。風景の描写や部屋の様子、庭の景色、着物の色など四季のうつろいが言葉の力でありありと目に浮かび、色合いの鮮やかさが容易に想像できます。また、著者の原田マハさんは美術館等の展覧会の企画・構成・運営などの仕事をされるキュレーターの経験者でもあるので、様々な有名作家の名前や作品が出てきます。ストーリーに出てきた絵を検索しながら読み進めてみたりもしました。実際に美術館に足を運び、本物に触れてみようかと思わせてくれます。

読書の秋とともに、芸術の秋も楽しんでみてはいかがでしょうか？ (〇)

今年
20周年を
迎えた

久世ふれあいセンター図書館

ってこんなとこです！



マスコットキャラクター

「くぜふれあいこちゃん」がご案内します。



学校とふれあいこちゃん



小中学校への
出前貸出

季節ごとに
実施していて
青い鳥号が大活躍！



毎年開催している
久世中学校吹奏楽部
コンサートは
16年目を迎えました

小学1年生の皆さんに
図書館を知ってもらおう為の
「ウェルカム1年生」
という行事は、もう
10年以上続いています



学校との
ふれあいも
ますます
深まっています

シニア世代とふれあいこちゃん



久世地域包括
支援センターと
連携して
昨年度より
シニア向けの行事
「こころカフェ」を
行っています

ブックトークや
音読をしたり



老人ホームへ
行き、紙芝居を
読んだり、
昔懐かしい本を
見てもったりも
しています



シニアのお客様にも
利用しやすい
図書館をめざして、
がんばります！



赤ちゃん和ふれあいこちゃん



絵本コーナーで
やってるよ！

午前11時から
だよ～

毎週月曜日は
「ちいさなおはなし会」。
幼稚園・保育園に入る前の
お子さま向け行事です



ボランティアの方や、
保育士さん、図書館の
職員が交替わりで
出演します



和気あいあい

保育士さん出演の
日は、育児相談も
できますよ！

その他にも！

たのしいイベントがいっぱい！

年末恒例！
福袋貸出



どんな本が入っているかは
借りてからのおたのしみ★
ためしにいっぺん借りてみて～

夏休み
おたのしみ
スタンプ



7～8月中旬に図書館に来てくれた
人にはスタンプをおします。
スタンプが5つたまったらステキな
プレゼントが…??

蔵書4万冊で、こごんまりしていますが、明るくて、木目調のぬくもりが
やさしい図書館です。アットホームな雰囲気づくりを大切にしています。
ぜひ、いらしてくださいね。

くぜふれあいこより

久世ふれあいセンター図書館

〒601-8203 京都市南区久世築山町328
TEL 931-0035 FAX 931-0026 市バス「築山」下車すぐ

レファレンス こぼれ話



～あなたの知りたいにおこたえます!～

レファレンスとは、みなさんからの質問・相談を受けて、調べものに必要な資料を探すお手伝いをする事です。このコーナーでは、京都市図書館の調べものを担当する右京中央図書館の司書がレファレンスについてのエピソードを紹介します。

各図書館のカウンター窓口・電話・郵便で受け付けています。京都に関することならホームページ経由でも受け付けていますので、お気軽にレファレンスサービスをご利用ください。

調べものをする，表情いろいろ

たくさんの人でにぎわう日曜日，少し緊張した顔の小学生が「京都と東京の料理の違いを調べたい」とレファレンスデスクにやってきました。

決まった料理，例えばスキヤキの違い？それとも…とお話をしながらふと見ると『しょうゆの絵本』を持っています。「しょう油やうどんのだしの色が違うので気になる」と教えてくれました。調味料や味つけについて書いてある本を探しましょうか，とたずねると「はい!」と笑顔になりました。

さて，図書館は“日本十進分類法”という決まりを使って本を並べています。本の内容を0から9の数字で表して，本にラベルをつけているのです。



図書館司書はひとつのことを調べるのに，この“内容を表す数字”＝“分類”を何種類か考えます。

今回考えたのは『しょうゆの絵本』の分類である[588]のほか，料理[596]，食生活[383]。味覚[491]も役立つかもしれません。

キーワード[醤油][うどん]や，[関西と関東][上方と江戸]，[地方性]なども考え，分類とあわせて検索しながら本を探します。

見つけた児童書は『調べてみよう都道府県の特産品 調味料編』。しょう油やだしなどの種類がわかるカラー写真のほか“日本全国醤油マップ”もあります。『味のふしぎ百科 2』には“日本の味覚境界線”の説明がありました。「あった」と喜びながらも，「ほかの本もないかな」とやる気が増したようです。

そこで一般書も探すことにしました。『関西人と関東人の味の違いに驚く本』は読みやすそうです。『47都道府県・伝統調味料百科』には調味料の歴史が

詳しく書かれていますが，字も小さく難しそうです。おうちの方と一緒に読めますか，と訊くと，力強くうなずいてくれました。

最初の緊張した顔から，調べたいことが伝わった笑顔，本を読む真剣な顔，一般書も読んでみるという少し大人びた顔。ほんの短い時間でしたが，小学生の成長に立ち会うことができたレファレンスでした。

【参考資料】

- 『しょうゆの絵本』
たちひろし／へん
たかべせいいち／え
農山漁村文化協会
2006



- 『調べてみよう都道府県の特産品 調味料編』
都道府県の特産品編集室／[編] 理論社 2016
- 『味のふしぎ百科 2』
栗原 堅三／編著 樹立社 2003
- 『関西人と関東人の味の違いに驚く本』
博学こだわり倶楽部／編 河出書房新社 2011
- 『47都道府県・伝統調味料百科』
成瀬 宇平／著 丸善出版 2013



「中学生にすすめたい本」

毎年、大学の学生さんたちがインターンシップや図書館実習で、図書の貸出や返却、配架、おはなし会などの行事に参加して、図書館の仕事を学んでいます。

今号は、中央図書館、下京図書館で実習をされた学生さんからの寄稿です。

◆ 京都女子大学 H・Yさん

『獣の奏者』 上橋 菜穂子／作 (講談社)

この物語は、決して人に馴れることのない、馴らすことも許されない「王獣」と心を通わせた少女エリンを中心に描かれています。

エリンが王獣のリランと出会い、試行錯誤しながらも絆を深めていく中で直面するもの。それらは愛情だけでなく、差別や欲望でもあり、生き物が生きること・生かされることを問うてくるものです。小学生の頃から数年に一度読んでいますが、その度に違う感じ方をしています。視野を広げ、生きることに向き合わせてくれるお話です。

◆ 京都外国語大学 西村 里緒菜さん

『小野寺の弟・小野寺の姉』

西田 征史／著 (泰文堂)

あなたには兄弟がいますか。私にとって兄弟とは、けんかをすることもあります。相談にのってくれたり、自分自身を励ましてくれる貴重な存在です。この話はお互い未婚の姉弟の日常生活の話です。弟はある事件を起こしてしまいます。それがきっかけで、お互いに相手が幸せになってくれることを一番に祈っています。私が印象に残っているのは、弟が事件のおわびとしてプレゼントを渡すところです。事件とは何なのかわけひ読んでみて下さい。

◆ 佛教大学 藤原 寿々子さん

『ねこまたのおばばと物の怪たち』

香月 日輪／著 (KADOKAWA)

新しい母に子供が産まれてから、家族にもなじめず、学校でもひとりぼっちだった舞子は、ある日、イジメっ子に「幽霊が出る」と噂の神社に1人で行かされるハメになってしまう。まっ暗な竹やぶがざわめく中、震えた舞子の前に突然何かが現れて—!? 普段私達がすっかり忘れていた大切な事を思いださせてくれる、背のびしたい子供から忙しい大人まで読みやすいお話です。秋の夜長に、物の怪のお話はいかがでしょうか?

◆ 京都教育大学 前田 純花さん

『文系? 理系? 人生を豊かにするヒント』

志村 史夫／著 (筑摩書房)

「何のために勉強しているのだろう。」「中学校の勉強なんて役に立つのか。」

そんな疑問を持ったことはありませんか。この本には、こうした疑問を解決するヒントがたくさんつまっています。「勉強＝暗記」というイメージが変わって、勉強が楽しくなるきっかけをくれる一冊です。勉強につまづきやつまらなさを感じている、将来の進路に悩みや不安を抱えている、そんなたくさんの中学生の皆さんに読んでいただきたいです。

◆ 同志社大学 大島 康寛さん

『新釈走れメロス』

森見 登美彦／著 (KADOKAWA)

『走れメロス』という太宰治の作品を知っていますか? 本作はその現代版です。しかし、本作の主人公芽野は友を裏切ります。大学の自治組織の囚われの身となった大学生の芽野は、友を身代わりとして差し出し、追っ手から逃れようと京の都を疾走するのです。「ただ同じものを目指していればそれでいい」という言葉の真意とは? 友を裏切った彼の考える友情とは? 少し滑稽で、でも私たちに友情の新しい形を示してくれる楽しい一作です。

京図ものがたり vol.48

発行
平成30年10月

編集・発行

(公財)京都市生涯学習振興財団 財団本部総務課企画係
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL 075-802-3145

ホームページ <https://www2.kyotocitylib.jp/>

携帯サイト <http://www.kyotocitylib.jp/i/>



QRコード



*天皇御一代に一つの元号とする制

(M)

編 ◆ 集 ◆ 後 ◆ 記
*「一世一元制」は、明治が始まりです。明治天皇がいくつかの候補の中からくじ引きで引き当てられたのが「明治」。その出典は、『易経』の中の「聖人南面而聽天下 嚮明而治」です。「明るい方向に向かって治まる」という意味で、国を開き、世界の一員た然とする日本の、新時代に相応しい晴れ晴れとした元号でした。そこから150年。明治から数えて、五つめの元号がもうじき決まります。新しい時代も、京都と京都人は飄々と乗りこなしていくことでしょう。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
『子どもを共に育む京都市民憲章』を実践しましょう!



地球環境を守るため、できる限り市バス・地下鉄等をご利用ください。